

2007年8月21日

#### 倫理委員会からの回答

熟読頂き、真摯にご意見を提示頂きますと、心がさらに引き締まります。貴重なご意見、本当にありがとうございました。委員会で慎重に検討させていただきました。その結果を以下に順番に回答させていただきます。

#### 頂いたご意見

1. 憲章の2.において、「・・・優先させてその職務を遂行し、・・・」と書かれておりますが、会員は職務以外の活動を行う場合（原子力災害時の支援活動等）にも、学会の会員に相応しい行動を行う必要があるのではないかと考えますので、「・・・優先させて行動し、・・・」とすることが望ましいのではないのでしょうか。

#### 倫理委員会からの回答

日本原子力学会の倫理規程は会員の専門活動における心構えと言言の規範について書き記したものです。ご指摘の通り、原子力災害時の支援活動等は厳密には「職務」とはいえないかもしれませんが。しかし「職務」には「つとめ」「役目」の意味もあります。会員は原子力災害時の支援活動等は広い意味での「職務」ととらえ、公衆の安全を全てに優先させた行動をとるべきだと思います。ただ、ご提案の通りに修正しますと、日常生活全般において公衆の安全を最優先することを求めているかのようであり、学会の倫理規程にはなじまないと考えます。原文のままとさせていただきますと存じます。

#### 頂いたご意見

2. 3-3.で、「・・・その再発防止に努めるとともに、・・・」と書かれていますが、品質保証規定：JEAC-4111においても、発生したトラブル等の再発を防止するための「是正処置」と、将来起こり得るトラブルを未然に防止するための「予防処置」を区別しております。トラブルが発生したらそのトラブルのみの再発を防止する対策を立てる、というモグラ叩きをしているだけでは原子力分野のトラブルを減少させていくことは困難なのではないかと考えております。当該箇所を、「・・・その再発防止及び類似の事故や故障の未然防止に努めるとともに、・・・」として頂ければ幸いです。

#### 倫理委員会からの回答

品質保証を担当されている方にも違和感のない倫理規程とすべく、ご意見を拝承させていただきます。3-3.を次のようにいたします。

< 経験からの学習と技術の継承 >

3-3. 会員は、経験から教訓を学び取る。特に原子力施設の事故や故障の経験からは、できるだけ多くのことを学び、その再発防止および類似の事故や故障の未然防止に努めるとともに、技術・知見の継承に努める。